

「こども未来お仕事フェア」で豊橋の保育現場を盛り上げる

Interview

03



社会福祉法人 明照保育園

園長・理事長

中島 章裕 さん

保育園・幼稚園・こども園の魅力を感じることができる「こども未来お仕事フェア」を2022年から年に1回開催。自らも明照保育園の園長・理事長として保育現場に日々携わりながら、「こども未来お仕事フェア」の事務局として活動中。

人の成長に関われるやりがいのある保育士という仕事を世の中に正しく知ってもらいたい

小・中学生の女の子の将来になりたい職業ランキングで、いつも上位に入っている保育士という職業が、最近「保育士の処遇の悪さ」といった側面や、「不適切保育」といった事件が大きく報じられ、5～6年ほど前から東三河エリアでも保育士不足の声を聞くようになりました。そういった風当りの強い中、健全に運営されている現場や処遇改善についてや、人の成長に関われるやりがいのある保育士という職業の素晴らしさを正しく世の中に知ってもらいたいと思い、保育園・幼稚園・こども園の魅力を感じることができる「こども未来お仕事フェア」というイベントを立ち上げました。



子ども達の楽しい笑い声がひびく園内では、笑顔でイキイキと働く保育士さん達の姿も輝いている

これから保育者をめざす学生はもちろん、子育て中の保護者にも是非体感してもらいたい「こども未来お仕事フェア」

「こども未来お仕事フェア」は、豊橋市内の保育園・幼稚園・こども園の代表などをつくる「未来の保育者を育てる会」、豊橋市、保育士養成校である豊橋創造大学が主催となり、2022年に第1回を開催しました。第2回のイベントでは、市内67施設が参加し、それぞれの園の特色を園長先生や実際に働く保育士自らが紹介したり、保育士が絵本の読み聞かせや手遊びを披露したりと、多彩なコーナーが充実。実際の保育現場を体感してもらい、やりがいを持って保育業界で働く人たちと交流してもらうことで、保育者をめざす学生たちはもちろん、子育て中の保護者の方にも質が高く安心して預けられる保育の現場について、知ってもらえる機会になればと思っています。

質の高い保育をめざして頑張っている保育者と、サポートする環境の整った街・豊橋

いろんなエリアでこういったイベントは開催されていますが、「こども未来お仕事フェア」がすごいのは、保育園・幼稚園・こども園という現場サイドと、保育士を養成する学校、豊橋市、愛知県の福祉人材センターなど、立場の違うもの同士が垣根を超えて、豊橋市により子育てのために団結してイベントを開催している、ということなんです。それが実現できる豊橋市は、より質の高い保育をめざして頑張っている保育者たちが多く、サポートする人たちも多い街なんだと思います。



「豊橋市が安心して子育てのできる街であるように、これからもできることをやっていきたい」と話す中島さん